



たらま

平成27年
新年号

平成27年1月1日発行
No.490

発行/多良間村役場・編集/総務財政課広報係 〒906-0692 宮古郡多良間村字仲筋 99-2 ☎0980-79-2011



謹賀新年

輝く青い海
青い空

多良間村は、
39番目の

「日本で最も美しい村」

連合に加盟
しています。



the most beautiful
villages
in japan



新年のごあいさつ

多良間村長

伊良皆 光夫

Mitsuo Iramina



村民の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様方には、夢あふれる輝かしい平成27年の新春を、さわやかにお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から、村政全般にわたり、温かいご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、ハード事業については、コミュニティセンター、教員宿舎、水納島津波避難施設が完成の目処がたちました。土地改良事業や農地保全整備（防風林帯整備）事業、農村公園東屋建築工事、前泊地区公衆トイレ建築工事、老朽化した簡易水道敷設工事等も順調に進められております。

ソフト事業については、多良間村さとうきび全農家がエコファーマーとして認定されたことは、大きな知名度アップを図ることができました。村制施行百周年記念事業として公募により決定した「たらぴん」が制作され、地域の皆

さんや島外でも人気を博しております。また、世界農業遺産登録に向けた挑戦をいたしました。が、残念ながら今回は選定されませんでした。しかし、今後への取り組みの基礎作りとなり、挑戦は意義深いものがあつたと思っております。

少子化対策としては、小中児童生徒の給食費無料化、幼稚園児の入園料・保育料無料化、保育所保育料第二子からの無料化、高校卒業までの医療費無料化、小中児童生徒の各種インフルエンザ接種無料化等進めることができました。過疎化対策としては、多良間村ふるさと活性化定住促進条例を改正し、交付金の大幅増額を致しました。

今後とも、本村が有する歴史や文化、自然・地理的条件などを活かした観光や地域間交流の推進に取り組み、交流人口や定住人口の増加を促進して参りたいと考えております。私は、村政の基本・原点

はそこに住む人々が地元を愛し、村民自らが村づくりに参画し、「住んでみたい」「住んでよかった」と実感できる村づくりであると考えております。

そして、将来に向かって本村が発展し続けるために、村民一人ひとりが「幸せ感」を感じる魅力ある村づくりを推進していく所存であります。これらの実現のためには、村民の皆様の知恵と力の結集が欠かせないものと考えております。村民と行政、お互いが持てる力の限りを尽くして、笑顔あふれる多良間村を創っていきましよう。

物事を進める時、一歩踏み出すことで新たな動きが加わり、活力が生まれます。これから何事にも挑戦する気持ちで取り組み、一歩一歩前進して参ります。

結びに、本年が皆様にとりまして健やかで実り多い年となりますよう心よりご祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

平成二十七年元旦



多良間村議会議長

森山 実夫

Saneo Moriyama



新年のごあいさつ

村民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

平成二十七年の年頭にあたり、多良間村議会を代表いたしまして謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

村民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をご家族おそろいで、お健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日頃から村議会に対して、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、現在、日本の経済情勢は、国の経済危機対策などの実施がなされているものの、未だ雇用情勢や個人消費の低迷が続いております。国においては今こそ確固たる信念のもとに財政・金融面での政策を強固たるものにして、不況からの脱出が早急に生活レベルで実感できることを強く要望するところであります。

また、本村の財政状況も大変厳しい状況が続いているこ

とから、既存事業を徹底的に見直し、より効率的かつ効果的な事業を実施し、行政のスリム化と効率を一層推進していかなければならないと考えます。このような状況の中、本村が抱えております過疎・少子高齢化や福祉・医療の充実など、直面する行政課題の解決に向けて日々取り組んでまいります。

最後に、新たな年を迎え、村議会としまして、その役割と責任の重さを自覚し、決意も新たに村議会の活性化と改革に取り組み、多良間村をさらに魅力ある「むら」にするため全力を尽くしてまいり所存でございます。どうかこれからも力強いご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年にあたってのご挨拶とさせていただきます。

平成二十七年元旦





新年のごあいさつ

多良間村教育委員会
教育長

池城 三千雄

Michio Ikeshiro



新年あけましておめでとう
ございます。

村民の皆様には、輝かしい
二〇一五年の初春を迎えら
れ、心身ともに益々ご健勝の
ことと、お喜び申し上げます。

さて、平成二十六年十一月
十九日第七回多良間村臨時議
会において村長より三人の教
育委員会委員の選任について
提案がなされ、議会の同意を
いただきました。教育委員会
では臨時教育委員会を開催
し、教育委員長、教育委員長
職務代理、教育長の互選が行
われ、教育委員長に知念信雄
氏、教育委員長職務代理に新
里五子氏、教育長に池城三千
雄が決定致しました。

年度途中ではありますが、
教育行政に取り組んで行くこ
とになりました。

教育委員会としましては、

まず、子ども達の健全育成に
努めて行くことを基本にして
いきたいと思っています。学校教
育は先生方が中心に進められ
ます。教育行政としては、子
ども達の教育環境の整備を
図って行きたいと思っています。

生涯学習、社会教育につき
ましては、活動の拠点、コミ
ニティー施設が完成しますの
で、各種社会教育団体の活性
化を図って行きたいと思いま
す。

子ども達の教育には、「学
校・家庭・地域・行政」の連
携が不可欠であります。「島
の子ども達はみんな育て
る」んだと、連携を密にして
取り組んで行きたいと思いま
す。

平成二十七年の未年が、村
民の皆様にとって「お祝いの
多い」一年になりますよう
祈念申し上げます。

今後とも、子ども達の健全

育成のため、ご指導、ご協力を
お願い致しまして新年のごあい
さついたします。

平成二十七年 元旦





新年のごあいさつ

宮古製糖(株)多良間工場
工場長

来間 春誠

Syunsei Kurima



新年明けましておめでとう
ございます。

村民の皆様におかれましては輝かしい平成二十七年（未年）の新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。日頃より弊社多良間工場の業務推進に対し心温まるご指導・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。今年も生産農家の皆様方と共にさらなる村糖業発展のため粉骨碎身努めて参る決意を新たに致している次第であります。

さて、昨年を振り返りますと本村においては、去る六月十七日、県庁において多良間村さとうきび生産農家二百五十二名（戸）に対し「エコファーマー」認定交付式が挙行されました。かねてより村行政やJA、関係機関が共に協力しながら三年かけて取り組んできたことが実を結んだものだといふ感謝申し上げます。この制度は、環境

保全型農業を实践する生産農家を認証する国の制度で、島単位での認定は今回の我が多良間村が初めての認定となったことを伺っております。誠に喜ばしい限りでございます。

今後、私共製糖工場の黒糖製造に際しましては、このエコマークを製品に表示し「エコ黒糖」として需要拡大に努める所存でございます。それに伴い農家の皆様の一層のさとうきび生産拡大と所得向上に繋がるよう、その実現に向けて努力して参ります。

ところで、今期製糖操業は、平成二十七年一月五日に原料搬入及び圧搾開始することが決定しております。今製糖の原料生産予想量は二万一千トンで平年並みの作柄が見込まれますが、品質については昨年を大きく上回って推移しており平均甘蔗糖度十五度以上の高糖度が期待さ

れます。ついでには甘蔗糖度が原料代金の単価算出の基礎となることから農家の皆様の所得向上に繋がるものと思慮致します。

今操業も農家の皆様の手塩にかけて育ててきたさとうきびを搬入・圧搾して煮き上げ風味豊かな、かつ安心・安全な黒糖製造に職員一丸となって全力を傾注して参る所存であります。「農家と共に歩み、共に発展する」ことをモットーにして・・・。

これからいよいよ最も村内が活気づく製糖シーズンに入りますが皆様にはどうかこれまで同様ご指導、ご鞭撻、一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、環境にやさしいさとうきび一面に覆われた緑豊かな多良間村の益々の発展と、併せて皆様方のご健康とご多幸を祈念申し上げ念頭のご挨拶と致します。

平成二十七年 元旦

平成26年第4回多良間村議会定例会

多良間村議会（森山実夫議長）の12月定例会が去る12月9日開会し、当局から提案された議案が審議された。また、一般質問は6氏が登壇し、村制全般について伊良皆光夫村長の考えをただした。

開会2日目は多良間小学校6年生31名が村議会の傍聴を行った。ねらいとして、村民生活には、地方自治の政治の働きが大きく関わり、村民生活の安定と向上を図るために大きな働きをしていることを理解し、よりよい村民生活の向上に関心をもたせることを学習させた。

議案定例会提案事項

議案第48号 平成26年度多良間村一般会計歳入歳出予算の補正について

正について

原案可決

議案第49号 平成26年度多良間村国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算の補正について

歳入歳出予算の補正について

原案可決

議案第50号 平成26年度多良間村介護保険特別会計歳入歳出予算の補正について

予算の補正について

原案可決

議案第51号 平成26年度多良間村簡易水道事業特別会計歳入歳出予算の補正について

歳出予算の補正について

原案可決

議案第52号 監査委員の選任について

否決

議案第53号 多良間村国民健康保険条例の一部を改正する条例

原案可決

議案第54号 多良間村墓地等の経営の許可等に関する条例の制定について

原案可決



人権の花運動 多良間小学校 思いやりの心 優しい心



平成26年度「人権の花」運動（主催…多良間村・共催…宮古島人権啓発活動地域ネットワーク協議会）が去る10月に、多良間小学校において人権の花の苗が贈呈された。贈呈された花苗はマリーゴールドとストック400本が贈られ、同校の中庭で植え付け作業が行われた。児童らは、きれいな花がさきますようにと一人一人プランターに植えた。



12月4日開花式が行われ児童らが植えた花苗はきれいに満開。開花式で伊良皆光夫村長は「皆さんが花苗を植えて、水をかけ一人ひとりが協力して大切に育ててきたおかげで、きれいな花が咲きました。花が咲き、花を見ると心が和みます。花を育てる気持ちで友達を大切に、きれいな心で成長し大人になってほしい」とあいさつした。

児童会長の高江洲一平くんは、「人権について勉強しました。人権とは人が人間として権利を持つことです。友達や花に対しても思いやりの心を持ち、人に優しい多良間っ子になりましょう」と全児童に呼びかけた。

児童等がプランターに植えた花は、多良間島一周マラソン大会で沿道に飾られ選手たちの心を和ませた。

多良間村人事異動 (平成26年12月1日付)

職員氏名	新 部 署	旧 部 署
本 村 雅 則	総務財政課 課長	住民福祉課 課長
波 平 敏 一	住民福祉課 課長	総務財政課 参事
池 間 諄 子	総務財政課 課長補佐	住民福祉課 課長補佐

新 採 用
豊見山 亜紀子 (住民福祉課)

第26回 公民館まつり

去る12月6日に第26回公民館まつり(主催・多良間村教育委員会)が開催され、各種団体による発表や展示物等が小学校体育館で行われた。生涯学習講座や小学校趣味の講座「うぶゆまた」の作品、各団体によるパザー・舞台発表などがあり、会場には多くの住民が訪れ賑わっていた。

公民館まつりは、明るい村づくり、人づくりをめざす公民館の役割について、地域住民の理解と関心を深め、生涯学習活動への意欲を促し、教育文化活動を推進し、生涯学習施設としての今後一層の活性化を図ることを趣旨として、「ありがとう!公民館」をテーマに開催。

公民館は新築中であり、完成すればコミュニティーセンターとして3階建ての地震・津波があったとき、避難場所にもなる。

平成26/27年製糖、 部落懇談会

宮古製糖多良間工場(来間春誠工場長)は昨年12月11、12日の両日に部落懇談会を開催した。工場職員が各区を回り説明、懇談を行った。来間工場長は「多良間村が誇る日本一の黒糖を維持していくため良い製品の搬入をお願いしたい」と農家への呼びかけをした。

今期収穫面積は29,200aで反収7,163t、1日平均処理量を220t、生産予想を20,915tとした。また、開始日を平成27年1月5日、終了予定日を平成27年4月9日とし操業日数を95日間と定めた。

*注意事項として

- 1、新鮮原料の搬入に努める
- 2、投入月日の厳守
- 3、無断での前刈禁止
- 4、梢頭部の切断位置は、2節苗が1本取れる位置
- 5、1台当たり積載量を、全茎原料4t・チョッピング原料6tまでとする
- 6、梢頭部、ひげ根、枯葉、枯死茎、病虫害茎、ねずみ被害茎等は完全に除く
- 7、道路際までの排出の遵守

第29回 村役場主催ケートボール大会

優勝:
土原Aチーム
準優勝:
天川Aチーム
3位:
土原Bチーム

争奪結果は次の通り
に努められていた。
大会などがあり、1
年を通して健康増進
大会は12回開催さ
れ、老く連・連合会・
JAたらま・郵便局
主催や親子3代GB
大会などがあり、1
年を通して健康増進
大会などがあり、1
年を通して健康増進

チームワークでプレーを楽しんだ。
19度と冷たい風が吹くなか、はつらつと
チームワークでプレーを楽しんだ。
19度と冷たい風が吹くなか、はつらつと



第29回多良間村
(伊良皆光夫村長)
主催、村長杯争奪
ケートボール大会
が去る12月5日に
開催された。『がん
じゅう どうがみ
つばん いづがみ
まいどー!!』をテ
マに、ケートボー
ルを通して老人ク
ラブ会員及びゲー
トボール愛好者の
結束を図るとも
に、健康増進に努
め会員相互の交流
と親睦を深めるこ
とを目的とし、20

第47回

大木区が一般・小中共に優勝

多良間村駅伝競走大会

【一般の部】

優勝：大木区

準優勝：嶺間区

3位：津川区

【区間1位一般の部】

1区：5キロ	島袋 雅也	20分27秒	大木区 (新記録)
2区：3キロ	東風平 勝平	13分10秒	津川区 (新記録)
3区：2キロ	濱中 美己子	8分25秒	宮良区 (新記録)
4区：4キロ	湧川 農	17分19秒	津川区 (新記録)
5区：8キロ	本村 三男	32分12秒	嶺間区 (新記録)
6区：3キロ	垣花 昭	13分50秒	嶺間区 (新記録)
7区：5キロ	柳岡 秀二郎	18分53秒	大木区 (新記録)

【小中学生の部】

優勝：大木Aチーム

準優勝：嶺間チーム

3位：吉川チーム

【区間1位小中学生の部】

1区：1,5キロ	西筋 亮太	5分51秒	大木Aチーム
2区：1,0キロ	下里 麻斗	4分09秒	津川チーム
3区：2,0キロ	豊見山 優矢	7分24秒	大木Aチーム
4区：3,0キロ	本村 雄飛	11分39秒	嶺間チーム
5区：2,0キロ	比嘉 瑞穂	8分14秒	吉川チーム
6区：3,0キロ	渡口 竜晴	11分47秒	大木チーム
7区：4,0キロ	外間 凌雅	13分49秒	大木チーム

去る11月24日、第47回多良間村駅伝競走大会が小学校グラウンドをスタートゴールで行われた。一般の部では1区から7区間30キロを2時間9分28秒で大木区が4連覇を飾った。小中学生の部では7区間16,5キロを1時間6分54秒で大木Aチームが優勝した。一般では7区間中6区間で区間新記録が出るなどまれに見る駅伝競走であった。結果は左記のとおり

第1回

多良間スーパースーパーボール大会



結果は次のとおり

優勝：中学3年生チーム

準優勝：多良間ファイターズ女子

3位：中学1年生チーム

去る11月30日第1回多良間スーパースーパーボール大会(スーパーボール同好会会長 下地明)が小学校体育館で行われた。下地会長は「スーパーボールの底辺拡大だけではなく、離島というハンディのため練習試合が思うように出来ない環境のなか、子供たちに試合なれしてもらいたいと企画した。小中・一般・男女関係なくスーパーボールを楽しみたい」とあいさつした。大会は小・中・一般6チーム参加があり、予選リーグを勝ち上がった小学生と中学生チームが決勝戦を争った。また個人賞MVPに多良間中学校1年チームの垣花藍架さんが選ばれた。



今年の子牛のセリ納めが去る12月8日、JAおきなわ多良間家畜市場において平成26年12月期の肉用牛セリが開かれ、平均キロ単価2074円の高値が付いた。セリでは141頭の子牛が競り落とされ、1頭あたりの平均価格は46万8千円余、この日、上場頭数成牛を含む153頭で販売総額が6794万円であった。JAたらま家畜市場の平成26年のセリは終了し、年間販売額が6億4000万円となった。

今年の子牛セリ高値
平均キロ単価
2千円超え

葉たばこ播種式



多良間村葉たばこ生産振興会（新里勝美会長）の葉たばこの播種式が去る11月4日、葉たばこ育苗施設内で行われた。生産農家や行政関係者・JAが参加、また昨年継続き多良間小学校4年生10人の児童らが参加し葉たばこの種をまき豊作を祈願した。

播種式で新里会長は「前回の葉たばこは良い品質であったと評価を受けた。今期も頑張つて

いこう」とあいさつ。

伊良皆光夫村長は「昨年の収穫は良い評価を受けた。引き続き今期の葉たばこも豊作で良い評価を得て、高値販売が出来るよう頑張ってもらいたい」と激励の言葉を贈った。

今後、児童生徒らは発芽した葉たばこの成長を観察しながら多良間村の農業について学んで行く。

「組踊等教育普及事業」についてお知らせ

多良間小・中校/保護者・地域合同芸術鑑賞会

【組踊・執心鐘入】

日時：平成27年2月3日（火）18時30分開演

場所：多良間小学校 体育館

*入場無料

出演：沖縄伝統組踊「子の会（しーのかい）」

主催：沖縄県教育委員会

協力：多良間村教育委員会

◎渡久山 朝邑様（沖縄県那覇市在）

村長へお任せコース希望で、十万円のご寄付がありました。ありがとうございました。

◎水沢 千秋様（東京都新宿区在）

村長へお任せコース希望で、十万円のご寄付がありました。ありがとうございました。

ふるさと
納税のお礼

編集後記

☆新年あけましておめでとうござい
ます。

旧年中「広報たらま」へのご指導
ご鞭撻を賜り誠にありがとうございました。

本年も旧年同様「広報たらま」よ
ろしく願います。

☆今期サトウキビ収穫も始まりま
した。雨、風のなか重労働であり
ます。体調万全で収穫にのぞま
れよう。

☆多良間村の当地キャラクター「た
らびん」は昨年9月30日に住民基本
台帳に登録されて以来、いろんな
イベント等でPR活動をしている。
その「たらびん」が平成26年11月28
日、特許庁において商標原簿に登
録された。商標権者は「多良間村」。

指定商品又は指定役務並びに商
品及び役務の区分として、キーホ
ルダーや身装品・紙製包装用容器・
プラスチック製収集袋・布製身の
回り品・文房具類・印刷物・のぼ
り及び旗等々で使用される。

☆今年度は未年、12年に1度のトウ
イカイ（生年祝）は2月24日（火）と
決まったようである。親島多良間
で集い、アゲたちと語らいながら
生年祝ういたいものだ。

みんな集まれ！未年生まれ！
てるけん

深紅の実 ローゼル



深紅の実を収穫している農園に出会った。数あるハーブの中でローゼルを紹介したい。20坪ほどの農園では燃えるような深紅の幹や実が秋の訪れを知らせてくれている。ローゼルは全草に酸味があり、アオイ科フヨウ属の仲間、実を使うのが特徴。実を包む萼（がく）や苞（ほう）がお茶やジャム、ゼリーなど加工食品の材料として使われる。クエン酸が多くビタミンCやアントシアニン等が含まれ、肉体疲労や眼精疲労の予防と回復、風邪予防、消化促進、強壮、暖下、利尿作用、美容効果などがあると言われる。村内には鈴木さんが栽培をおこなっており、4月～7月が種まき時期と話す。

村長のたうけーむぬゆむ（ひとりごと）

今年（未（ひつじ）年。えとは漢字で「干支」と書く。干支の「支」とは十二を意味し、「干」のほうは甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸の「十干（じっかん）」を指す。昔の人は、この十干（じっかん）と十二支（じゅうにし）の組み合わせにより年や月日、時間を数えてきた。たとえば、満60歳を還暦と呼んで祝う習慣は、「暦が還る」と書くところ、十干と十二支の組み合わせが60年で一回りすることから生まれたものだ。10と12の最小公倍数は60であることからきている。

イェス・キリストは人間のことを「迷える子羊」と例えた。一見おとなしく従順、集団行動を好み、じつと周りの行動を観察しどう動くか考える。これがひつじ年がもつ基本性格らしい。人当たりがよくて温和、困っている人を見ると何かできないものかと考え、親切にしようとする。人との争いや対立を好まない。口げんかや口答えをすることもあまりなく、往々にして人間関係は良好。物事にはかなり慎重で、ギャンブルや先の読めないチャレンジには考え過ぎるほど考え、やはり手を出さなかったということも多々ある。天性の気の弱さがあり、きれいな好きなので、住居も整理整頓をおこたらず落ち着いた生活を送る人が多い。

ひつじ年の弱点としては、人に親切にしたいと常に思うその優しい性格から、たのまれるといやといえないこと。この点を注意しないとあれもこれもと他のたのまれごとで人生を費やしてしまうおそれがある。

ひつじ年は曲がつたことをゆるせない頑固な一面ももっている。曲がつたことが嫌いで芯が強く、時代を先取りする才能も持ち合わせており、独特な世界観で自分の世界を築きあげる。地道な性格ゆえに進み方は人より遅く、突然頭角を現すということにはならないが、忍耐強く努力を重ね、中年期以降に運氣が上昇する人は多い。氣遣いが上手にできるので人にも恵まれ、堅実さゆえ浪費も少ないので貯蓄も上手に進めていく。

今年（未（ひつじ）年。えとは漢字で「干支」と書く。干支の「支」とは十二を意味し、「干」のほうは甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸の「十干（じっかん）」を指す。昔の人は、この十干（じっかん）と十二支（じゅうにし）の組み合わせにより年や月日、時間を数えてきた。たとえば、満60歳を還暦と呼んで祝う習慣は、「暦が還る」と書くところ、十干と十二支の組み合わせが60年で一回りすることから生まれたものだ。10と12の最小公倍数は60であることからきている。

ひつじ年の弱点としては、人に親切にしたいと常に思うその優しい性格から、たのまれるといやといえないこと。この点を注意しないとあれもこれもと他のたのまれごとで人生を費やしてしまうおそれがある。

ひつじ年は曲がつたことをゆるせない頑固な一面ももっている。曲がつたことが嫌いで芯が強く、時代を先取りする才能も持ち合わせており、独特な世界観で自分の世界を築きあげる。地道な性格ゆえに進み方は人より遅く、突然頭角を現すということにはならないが、忍耐強く努力を重ね、中年期以降に運氣が上昇する人は多い。氣遣いが上手にできるので人にも恵まれ、堅実さゆえ浪費も少ないので貯蓄も上手に進めていく。

